



千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-14号

Trains and planes seen in Chiba

ちばで見も 電車&飛行機

第7回



● JR東日本 209系2000番台
209系500番台

● JR東日本 E233系

209系2000番台 内房線(袖ヶ浦駅~巖根駅間)



209系2000番台
総武本線(日向駅~成東駅間)

JR東日本の次世代を担う 通勤形電車として登場した209系

209系2000番台

209系は、JR東日本の次世代を担う通勤形電車として1993年に誕生したシリーズです。

この209系2000番台の車両は総武本線や成田線、内房線、外房線、東金線の普通列車に使用されています。

もともと209系2000番台の車両は、京浜東北線で使用されていた209系0番台を転用改造したもので、房総地区で使用され老朽化した113系および211系に代わる車両として2009年に運行が開始されました。

座席は、進行方向と平行に設置されているロングシートが中心ですが、房総地区で運行される車両では、比較的長時間の乗車時間も想定されることから、進行方向に直角なベンチ型の4人掛けのボックスシート(セミクロスシート)が先頭車両に設置されています。また一部車両にはトイレも設置されています。

すぐわかる外見上の特長は、菜の花と海をイメージした青と黄色のラインですが、形も特長的です。最近、下部が少し縮まる裾絞りの形状の車体が増えてきましたが、この車体は側面が垂直、つまり真四角。これだけですぐに209系であることが分かります。最高速度は110km/h。

近年、新型車両が投入されはじめたため、今後は少しずつ車両の数が少なくなっていくと言われています。



209系2000番台 内房線(袖ヶ浦駅~巖根駅間)

209系500番台

中央・総武緩行線に使用されていた103系を置き換えるため、JR東日本が1998年に開発したのが209系500番台です。

当時の中央・総武緩行線では103系の老朽化が進んでおり、故障が多発するなど、車両の置き換えは急務となっていました。そこで登場したのが、E231系の広幅車体と209系の足回りを組み合わせて製造した209系500番台です。広幅車体を採用したことでその分車体も大きくなり、1両あたりの輸送力もアップ。ラッシュの混雑緩和を図ることもできました。

E231系と同じ車体なので見た目は同じですが、全体が銀色のE231系と異なり、前面を白く塗っているのが外見上の最大の特徴です。

中央・総武緩行線の次期標準車までの「つなぎ役」として製造された車両ですが、E231系の置き換えによって2019年で全て撤退しています。現在では武蔵野線と京葉線で活躍しています。



209系500番台 武蔵野線(八柱駅~新松戸駅間)

JRの歴史の中で 最も多く製造された 車両、E233系

E233系 外房線(誉田駅~土気駅間)

E233系

E233系は、JR東日本の首都圏に数多く導入されている通勤・近郊型電車の車両です。

電車にくわしくなくても、その姿を見ればすぐわかるお馴染みの車両。2021年11月現在で3,000両以上も製造され、これはJRの歴代の車両の中でも最も多く製造されています。

デビューは2006年。既存の201系の老朽化が進んでいたため、これに代わる車両として中央快速線で導入が開始されました。その後、定期的に改良が施され、新たな機能を加えながら、ほぼ1~2年おきに、首都圏の各路線に次々と投入されていきました。

千葉県を走る路線にE233系が投入されたのは2010年。まずは京葉線で運行。240両が製造され、201系・205系・209系との置き換えの形で導入が進みました。中央線に投入されたE233系0番台をベースとした車両で10両編成、あるいは4両+6両編成が多く見られます。現在は外房線・内房線・東金線でも活躍しています。

E233系の大きな特長は、故障に強く、乗客に対するサービスが充実している点です。例えば動力系統、パンタグラフなど主要機器を二重化し、故障が発生しても運転が継続できる仕組みを作るなど、従来の車両よりも故障に強くなっています。

サービス面でも、車体の床面高さを下げ、ホームとの段差を縮小して足の不自由な方や車椅子を利用される方がスムーズに乗降できるよう配慮されています。また車内の荷物棚、吊革の高さを下げ、身長の高い乗客でも利用しやすいよう改良が加えられています。さらにエアコン内に空気清浄機能を追加、抗菌加工された吊革の採用、座席幅も拡大されました。

そして注目なのは京葉線に投入されたE233系には新しい高速無線通信技術であるWiMAXが採用された点。動画広告の配信など従来と比べ高画質かつ高頻度の情報提供が可能となりました。最高速度は120km/h。



撮影ポイント

●下総神崎駅~大戸駅間

下総神崎駅を出発してカーブしてくる下り列車をきれいに撮れる人気スポット。車両編成によって、レンズの画角(ズーム)や立ち位置を工夫して撮影します。



●八街駅~日向駅間

宮田踏切と木原踏切の間から撮影。写真は209系改造サイクルトレイン「B.B.BASE」佐倉・銚子コース。



●誉田駅~土気駅間

外房線のこの区間は、E233系、E217系、E235系、255系、E257系などバリエーション豊か。京葉線では1編成のみとなった、209系500番台も日によって上総一ノ宮まで運用されます(京葉線直通)。



キッズダムの自分で操縦できる鉄道ジオラマ



▲見ているだけでわくわくしてくる鉄道ジオラマ



▲どこを見ても非常に精巧にできています



▲この日もご家族連れでにぎわっていました

千葉こどもの国キッズダムは市原市にある水と緑に囲まれた自然遊園地です。臨海部への工業用水の水源となっている山倉ダムのすぐ隣にあり、プール、釣り堀などのさまざまなアトラクションが楽しめる遊び場です。園の真ん中にはきれいに手入れされた広大な芝生が青々と広がっています。

アトラクションの中でも鉄道好きな子どもたちに大人気なのが、自分で操縦することのできる大きな鉄道ジオラマ。新幹線「つばさ」や「はやぶさ」「ドクターイエロー」などの中から好きな車両を選んで山や町中を走らせます。とても大きな鉄道ジオラマは非常に精巧にできており、ちょっと昔の街並みが再現され、生活の息吹まで感じられるほど。その小さな世界の中に車両を走らせれば、すっぽりとそこに入り込んでしまうような臨場感があります。操縦する子どもたちも、運転手気分で大盛り上がり。操縦かんを前に歓声を上げていました。

キッズダムには他にもSLに引かれたキッズダムトレインや園内のコースを自転車で走る

「わくわくサイクリング」、「ゴーカート」や巨大な「すべり台」など楽しいアトラクションが盛りだくさん。芝生広場でお弁当を食べながら一日楽しく遊べます。

この日も朝から小さなお子さまを連れてご家族がたくさん来園し、アトラクションと一緒に楽しんだり、芝生広場でゆったりと過ごしていました。

- 開園時間／9:30～16:30(3月27日～10月)
9:30～16:00(11月～3月26日)
- 定休日／木曜日(祝祭日・長期休みを除く)
- 一般入園料／幼児(3歳～) 200円
小・中学生 300円
おとな 900円
シニア 500円
- 鉄道ジオラマ 1回 200円
- 駐車場／普通車 1日 800円

※くわしくはWebサイトをご覧ください。
<https://kidsdom.jp/>

- 問い合わせ／千葉こどもの国キッズダム
市原市山倉1487 TEL.0436-74-3174

Recommended Gourmet ★おすすめグルメ

自家菜園の無農薬野菜を使用した本格健康 イタリアン「Buona Vita(ヴォナ ビータ)」

京成臼井駅にあるイタリアンレストランBuona Vita(ヴォナ ビータ)は野菜が自慢のお店。使用している野菜は、そのほとんどが四街道市や九十九里町にある畑で、自家菜園で心をこめて育てられた野菜達ばかり。まさに畑から収穫したばかりのようなシャッキシャキの野菜本来の美味しさを楽しむことができます。

ランチメニューは全てデザート、ドリンク付きです。デザートも評判で、もちろん全てシェフの手作り! 季節ごとに楽しめるフルーツを使ったシェフオリジナルデザートも大変好評です。



写真はランチメニューの一例。その日仕入れた素材によって変わります。

Buona Vita(ヴォナ ビータ)

佐倉市王子台2-26-12 TEL.043-309-8232

- 営業時間／11:00～15:00(LO 14:00)
17:30～22:00(LO 21:00)
- 定休日／月曜日・第1日曜日、第3日曜日
- アクセス／京成臼井駅より徒歩5分
- 駐車場／7台



「ちばで見る電車&飛行機」今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばで見る電車&飛行機」の第7回をご覧ください。



今回ご紹介した、JRで最も多く製造された車両E233系。千葉県で最初に導入された年はいつでしょうか?
次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 2006年
- ② 2010年
- ③ 2021年

取材協力・撮影協力・写真提供／千葉こどもの国キッズダム、Buona Vita

確かな「きずな」を、未来へ。



京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「ちばで見る電車&飛行機」を配信しています。

LINE
公式アカウント



正解は→② 2010年

2022.7
(次回発行／2022年8月19日)